

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合  
〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号  
TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290  
発行者/今井 伸 編集者/久保田勉

“異形の労働組合指導者『松崎明』の誤算と蹉跌”

## 「国鉄改革の裏側」ダイジェスト版 第20回

あの元国鉄労働課長が明かす「国鉄改革の裏側第6弾」が【異形の労働組合指導者「松崎明」の誤算と蹉跌】という本になった。本紙は筆者（宗形明氏）の了解を得て、『JR東日本革マル問題の真相と現状』をダイジェスト版として紹介することとした。



### J R 東日本労政の回顧と展望・その2 「J R 東日本経営幹部の秘密発言メモ」

～93年6月ころ、「J R 東日本経営部秘密発言メモ」なる怪文書が出回ったことがある。～

1. 仙台、新潟などで東労組の中で少しガタガタしている。株上場を前にしていかにもまずい。
2. この動きは去年西、東海でJ R 連合ができてから、当然いつかは来ると思っていたが思っていたより早いようだ。旧鉄労の連中が、まだ友愛会議ということで連絡を取り合っており、この動きは決して無視できない。
3. 処置を間違えば大きな動きになる。だから十分注意して対応する必要がある。とりあえず「上場までは抑える」と言え。主管（課）を通じて圧力をかけるのが一番効くと思う。バレないように電話を使ってやる方がよい。バレたら不当労働行為だから。バックにはJ R 連合がいるからあまり嘗めてかからないように。
4. 松は革マルじゃないか、という話も出ているが、それはそうに決まっている。会社として松が革マルじゃないなどと一度も言ったことはない。しかし、松は生き延びるために会社に協力する姿勢をとってきた。共産党や協会派と闘わせるには、革マルを使うよりないというのが会社の判断だった。
5. 西や東海のように革マルを切って暴れさせるのは得策でない。あれはバカだ。ストをやられて困っているようだが、あれは自業自得だ。東ではストをやらない。今後もやらせない。これが東の方針だ。
6. 松の最近のやり方には少々頭に来ているようだが、おとなしくさせておくにはこの方法しかない。少々高いアメをしゃぶらせても結局はその方が安上がりだ。これが東の労務方針だ。
7. 松はやってもせいぜい2～3年だ。年齢はごまかせない。松が委員長をやめれば、革マルもたいしたことはない。嶋田なら取り込める。その時は会社が前に出る。勝負するということだ。菅家を辞めさせるような動きもあるが、彼は鉄労の闘士だから辞めさせると旧動労の片肺飛行になってまずい。
8. J R 総連がナショナルセンターの連合とまずい関係になっているようだが、連合を脱退するようなことになれば会社としてもカバーし辛くなる。脱退したら付き合い合えないと大塚を通じて福原に言わせてある。
9. 東海のこと<「怪新聞」連続発行事件>もやり過ぎだ。誰が見たって革マルの仕業だと思うのは当たり前だ。しかし、証拠がないから処置のしようがない。あれは東へのブラフでもある。十分気をつけてくれ。
10. この方針はトップも承知していることだ。柴田監査役も承知している。

～この文書はたしかに怪文書ではあるが、決してデッチアゲ文書ではない。J R 発足以来今日に至るまでの「松崎・J R 革マル対策の骨子」であることは間違いない。…しかし、この間の実態を見ると、“全て齟齬を来たし、不成功に終わってしまった”というのが、客観的な評価として正しいであろう。要するに、相手手はそんなに甘くない、敵は一枚上手だったということである。J R 東日本は、歴史に鑑み、この原点を十分に踏まえて新しく一步踏み出すこと大切だと言っておきたい。【松はやってもせいぜい2～3年だ。年齢はごまかせない。松が委員長をやめれば、革マルもたいしたことはない。嶋田なら取り込める。その時は会社が前に出る。勝負する…】のだそうだが、それから既に15年近く経っている。確かに松崎は委員長を辞めた。が、「国際労働総研」を拠点に、依然としてJ R 東組の最高権力者として君臨しているばかりか、会社経営陣に対して吠えまくっている。そして、取り込むどころか、会社は「嶋田」を見捨てた。

【異形の労働組合指導者「松崎明」の誤算と蹉跌（高木書房）P.192～P.195】